

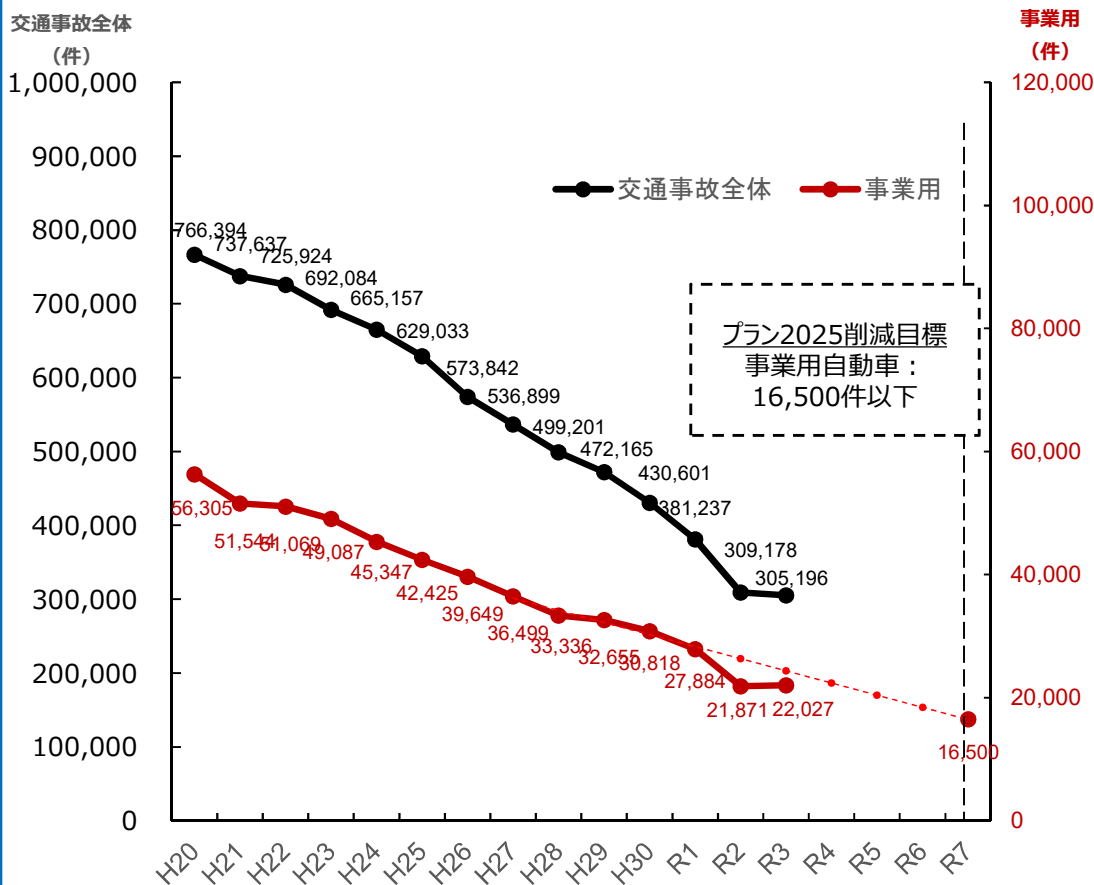
# 最近の交通事故発生状況

令和4年度 第1回「事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会」

# 事業用自動車による交通事故全体の件数の推移

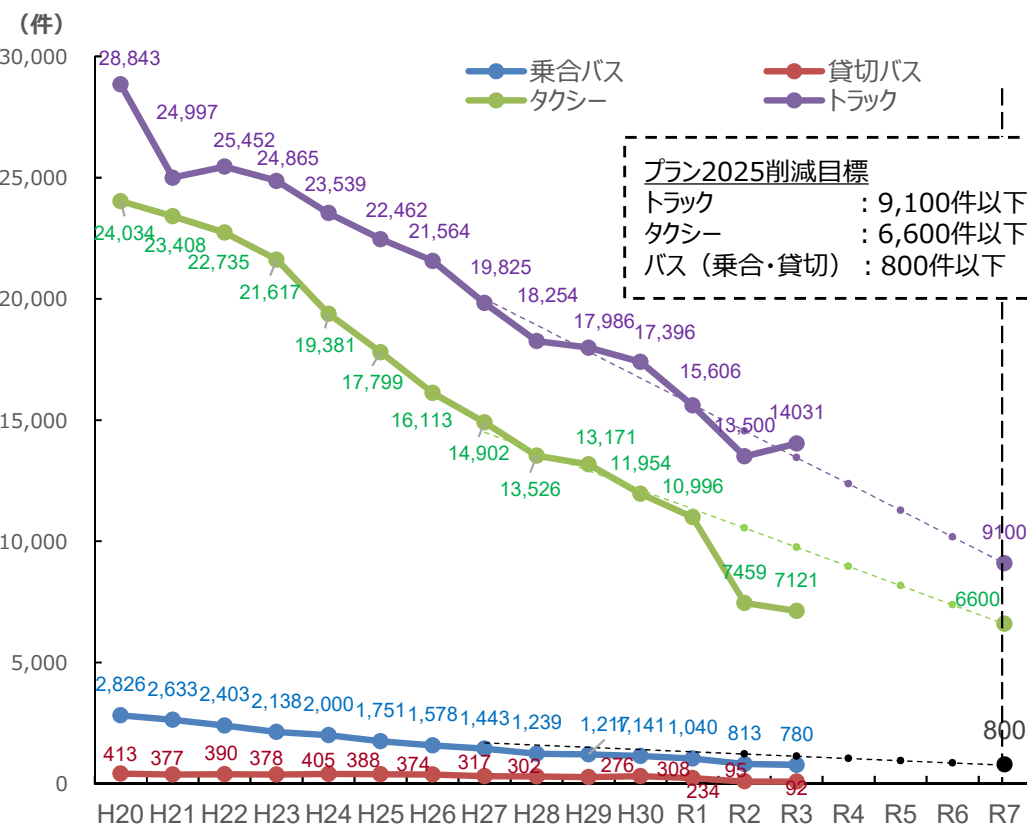
- 令和3年中に発生した交通事故全体の件数（人身事故件数）は305,196件であり、そのうち、事業用自動車の交通事故件数※は22,027件であった。
- 各モードの交通事故件数は、トラックを除いたモードにおいて前年に比べ減少している。 ※ 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数  
 なお、トラックの事故件数が増加しているのは、軽貨物の事故件数が増加傾向にあるためである。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 各モードの交通事故の推移



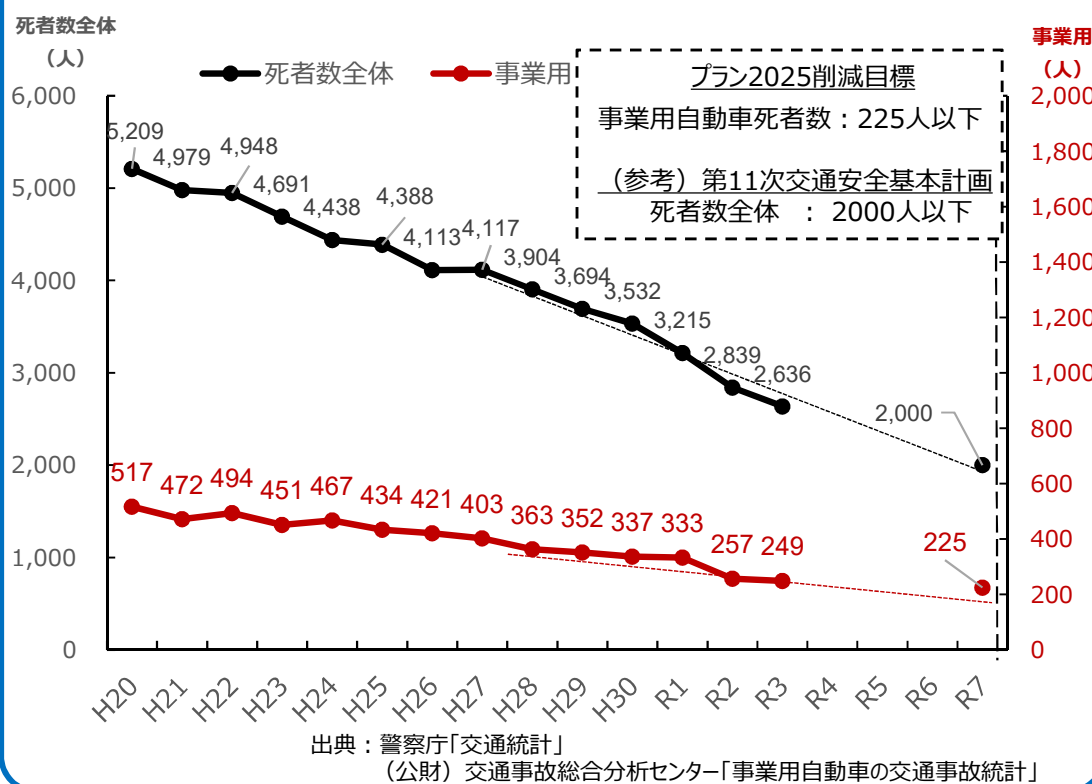
プラン2025削減目標  
 トラック : 9,100件以下  
 タクシー : 6,600件以下  
 バス (乗合・貸切) : 800件以下

出典：警察庁「交通統計」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

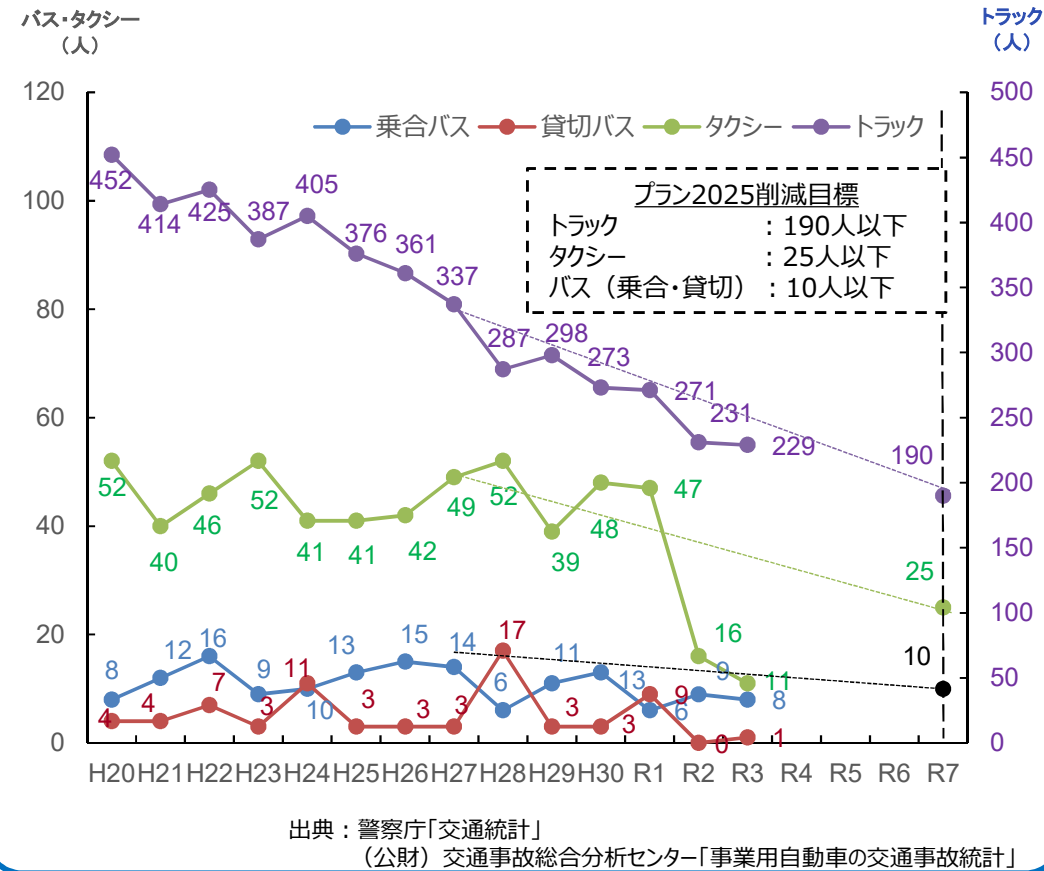
# 事業用自動車による交通事故死者数の推移

- 令和3年中に発生した交通事故全体の死者数は2,636人であり、そのうち、**事業用自動車の交通事故死者数は249人**（前年比8人減）であった。
- 令和3年の各モードの交通事故死者数は、タクシーは減少、トラック・乗合バス・貸切バスは前年と同水準である。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移

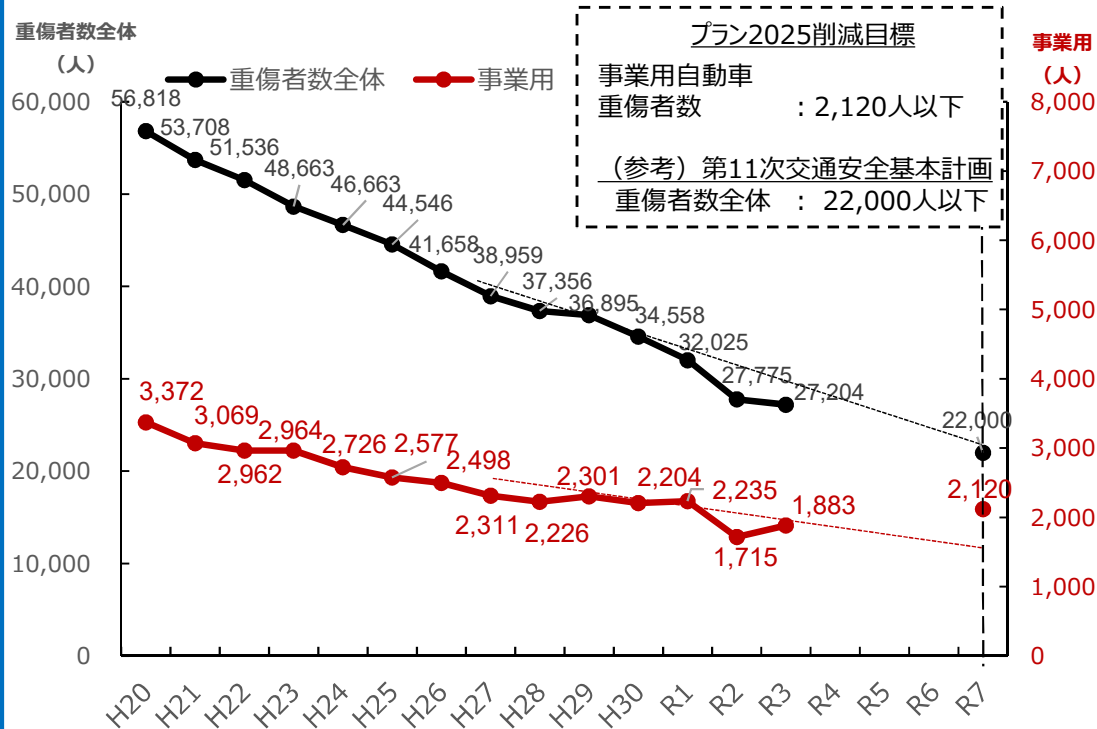


## 各モードの交通事故死者数の推移



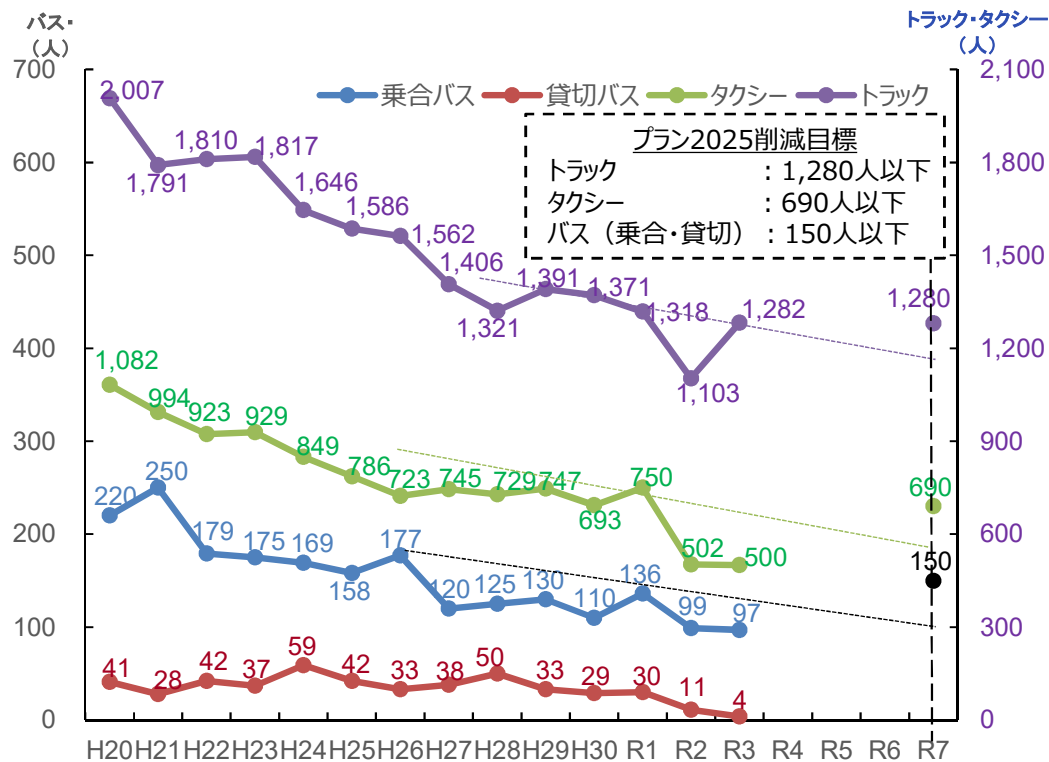
- 令和3年中に発生した交通事故全体の重傷者数は27,024人であり、そのうち、**事業用自動車の交通事故死者数は1,883人**（前年比168人増）であった。
- 令和3年の各モードの交通事故死者数は、トラックは増加、貸切バスは減少、乗合バス・タクシーは前年と同水準である。

## 交通事故全体と事業用自動車の重傷者数の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

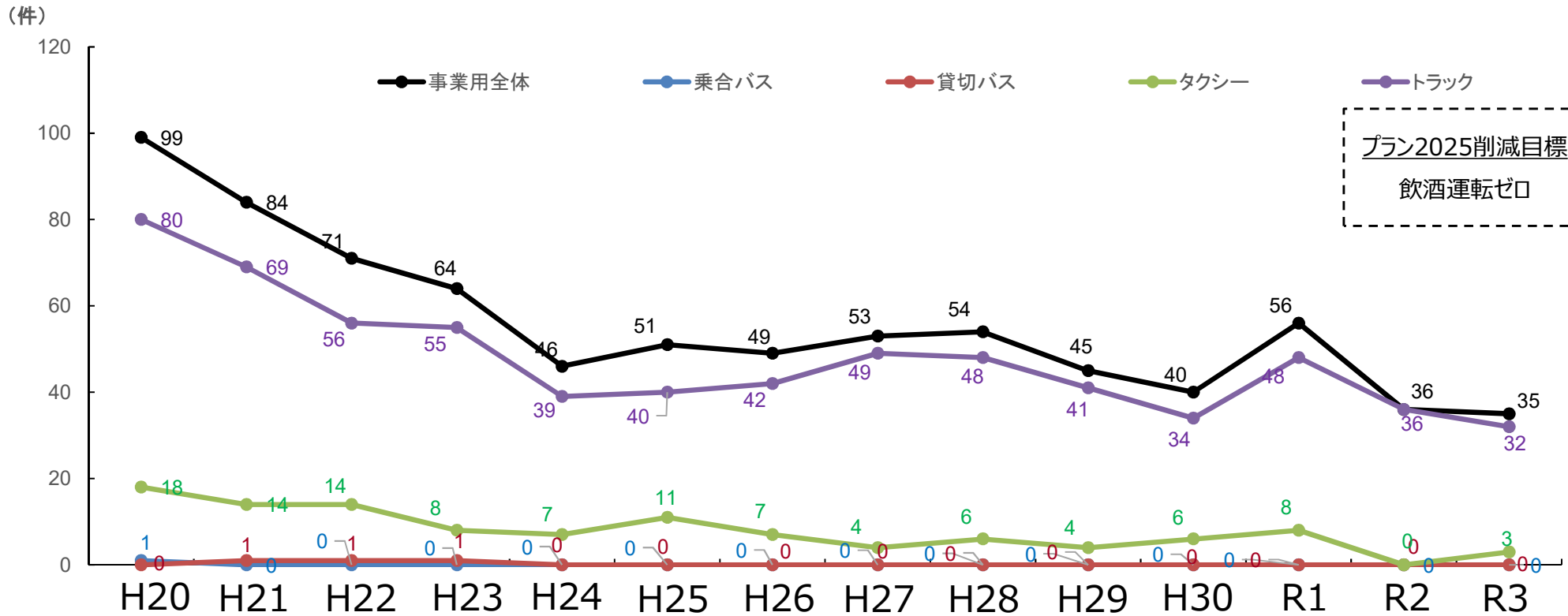
## 各モードの重傷者数の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 事業用自動車による飲酒運転事故件数は、平成24年以降横ばいの状況が続いている。
- 飲酒運転の根絶に向け、引き続き飲酒運転を未然に防止するためのルール作り等の取組が必要。

## 飲酒運転による事業用自動車の交通事故

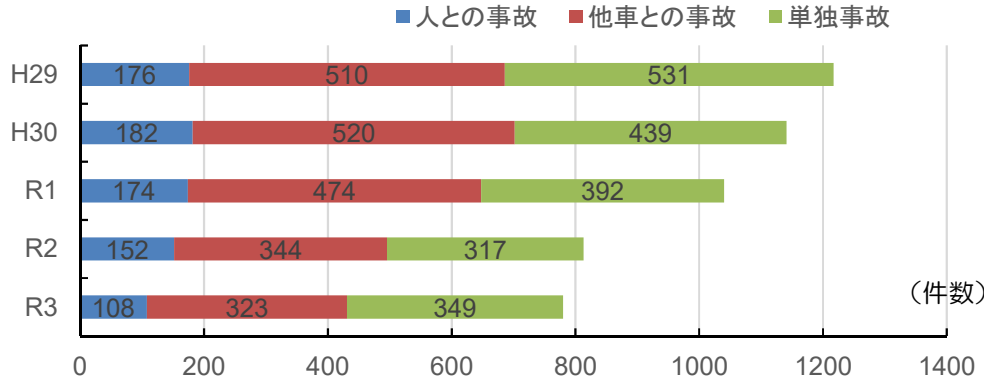


出典：警察庁「交通統計」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

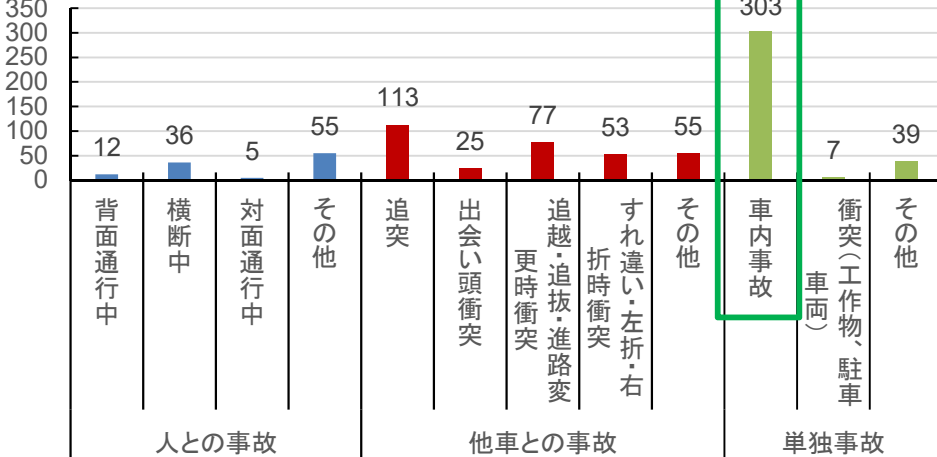
- 乗合バスによる交通事故全体の件数は減少傾向を示しており、令和3年は**780件(過去最少)**であった。事故を類型化すると、「**車内事故**」が全体の約4割にあたる**303件**発生しており、最多であった。
- 乗合バスによる**死亡事故の件数は近年横ばい傾向**を示しており、令和3年は**8件**であった。事故を類型化すると、「**横断中の歩行者との事故**」が全体の約4割にあたる**3件**発生しており、最多であった。

## 乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

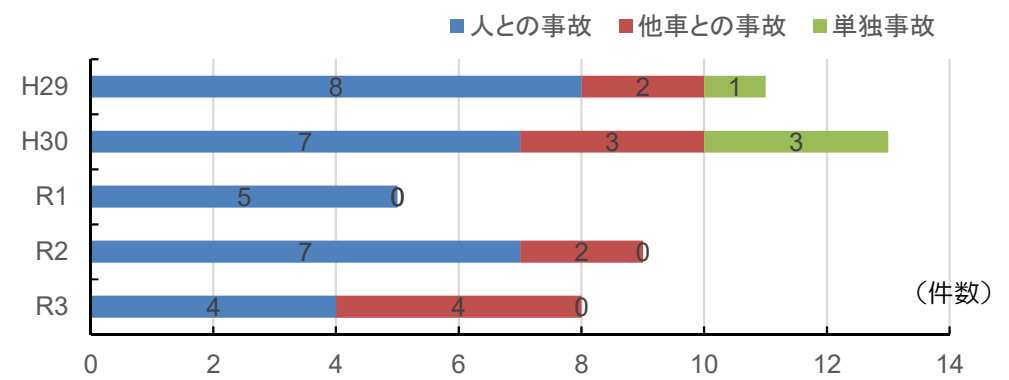


○令和3年事故類型別事故件数の内訳  
(件数)

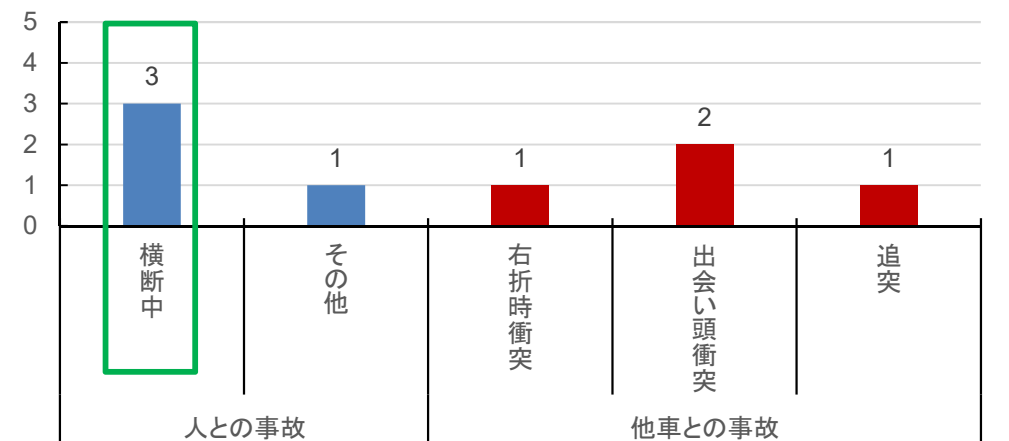


## 乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



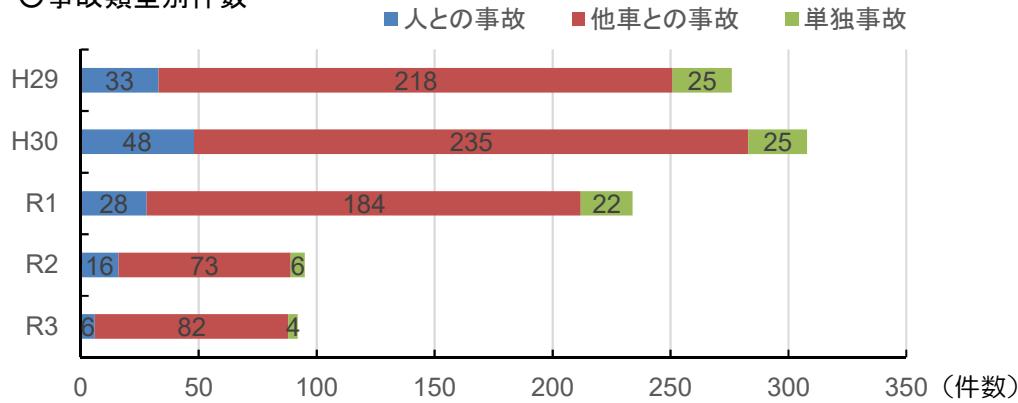
○令和3年事故類型別死亡事故件数の内訳  
(件数)



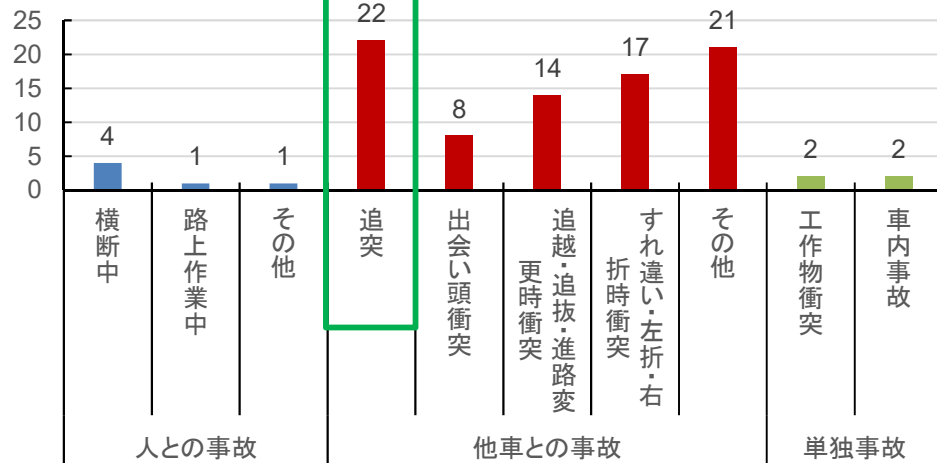
- 貸切バスによる交通事故全体の件数は減少傾向を示しており、令和3年は**92件(過去最少)**であった。事故を類型化すると、「**追突事故**」が全体の約2割にあたる**22件**発生しており、最多であった。
- 貸切バスによる死亡事故の件数は近年1ケタ台で推移しており、令和3年は**1件**であり、右折時における他車との衝突事故により発生したもの。

## 貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

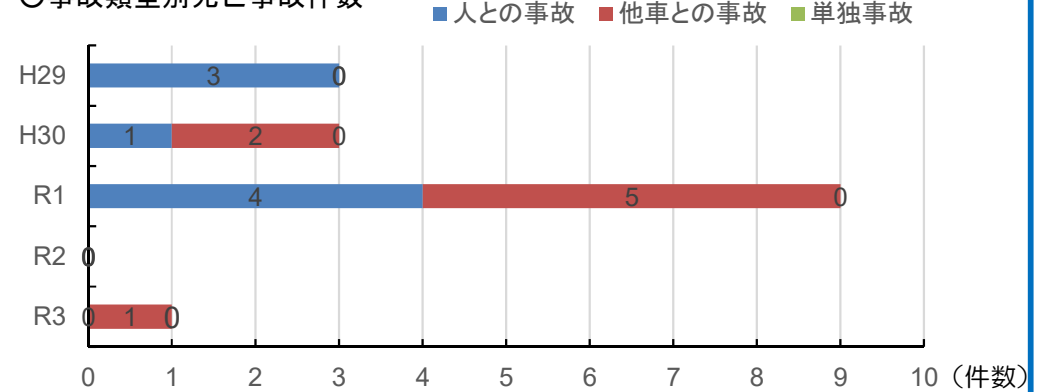


○令和3年事故類型別事故件数の内訳(件数)



## 貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和3年事故類型別死亡事故件数の内訳

※令和3年は1件であり、右折時における他車との衝突事故により発生したものの。

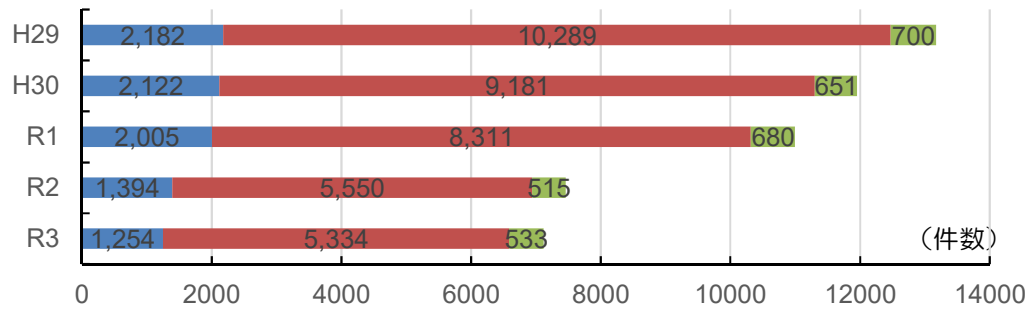
出典:(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- タクシーによる交通事故全体の件数は減少傾向を示しており、令和3年は**7,121件(過去最少)**であった。事故を類型化すると、「**出会い頭衝突事故**」が全体の約2割にあたる**1,421件**発生しており、最多であった。
- タクシーによる死亡事故の件数も減少傾向を示しており、令和3年は**11件(過去最少)**であった。事故を類型化すると、「**横断中の歩行者との事故**」が全体の約4割にあたる**4件**発生しており、最多であった。

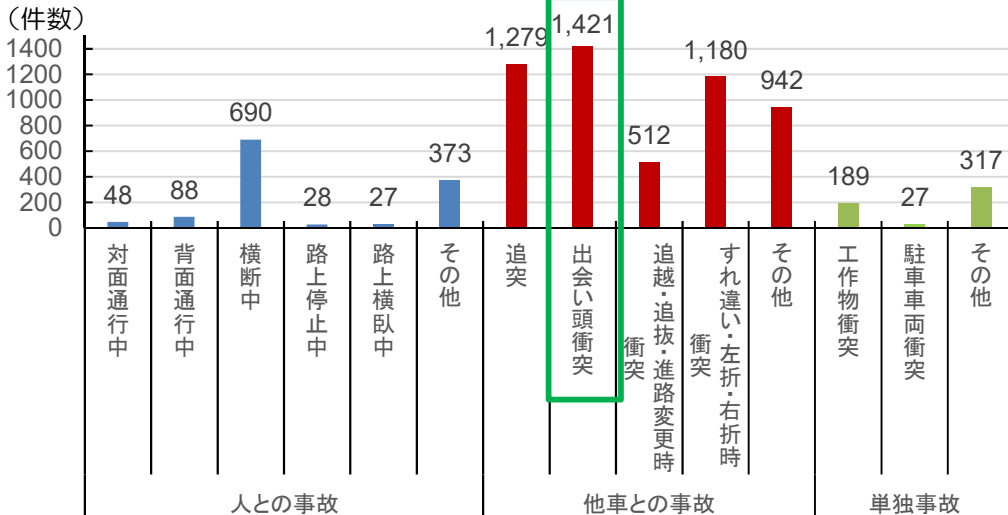
## タクシーの事故類型

○事故類型別件数

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故



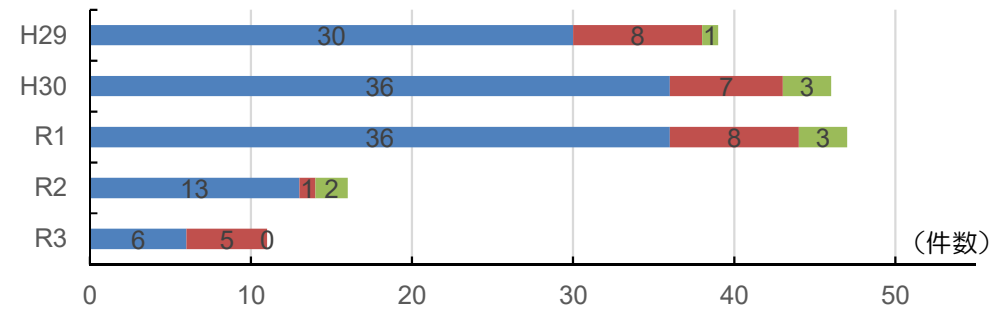
○令和3年事故類型別事故件数の内訳



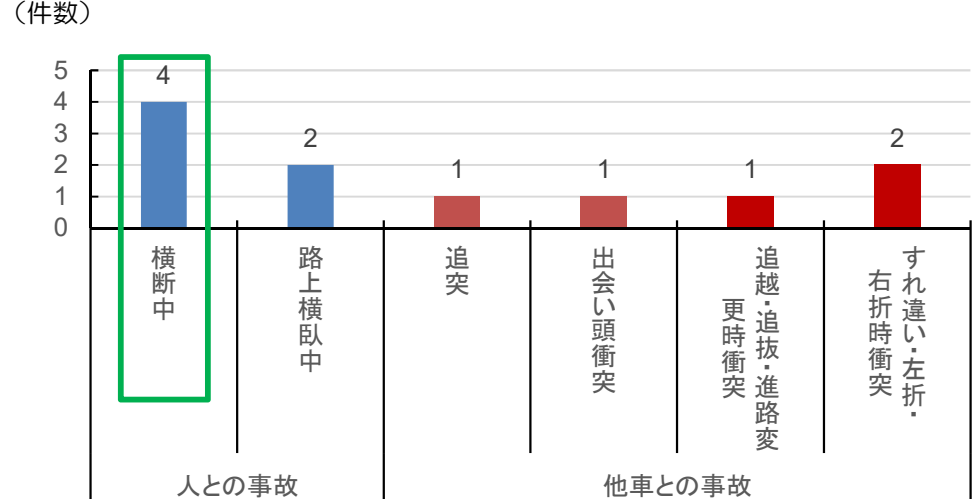
## タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故



○令和3年事故類型別死亡事故件数の内訳



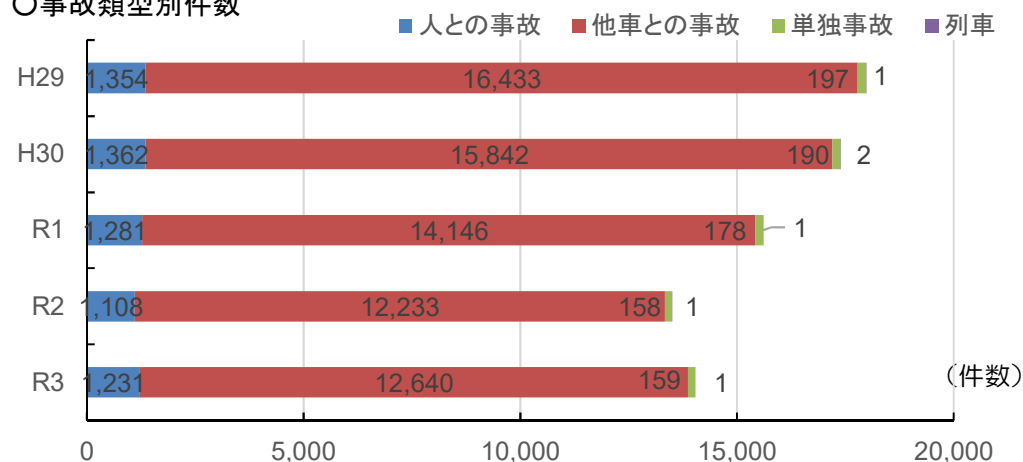


# 業態別の特徴的な事故(トラック)

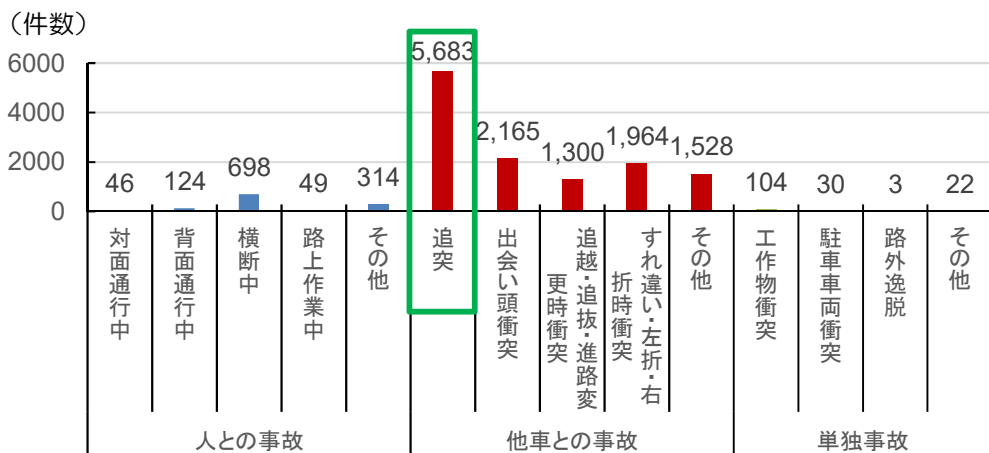
- トラックによる交通事故全体の件数は横ばい傾向を示しており、令和3年は**14,031件**であった。事故を類型化すると、「**追突事故**」が全体の約4割にあたる**5,683件**発生しており、最多であった。
- トラックによる**死亡事故の件数は減少傾向**を示しており、令和3年は**221件（過去最少）**であった。事故を類型化すると、「**横断中の歩行者との事故**」が全体の約3割にあたる**58件**発生しており、最多であった。

## トラックの事故類型

○事故類型別件数

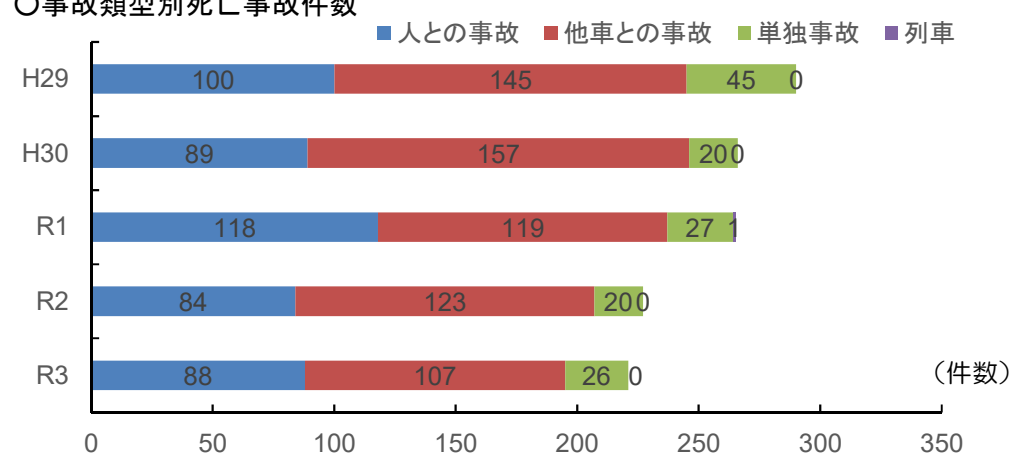


○令和3年事故類型別事故件数の内訳

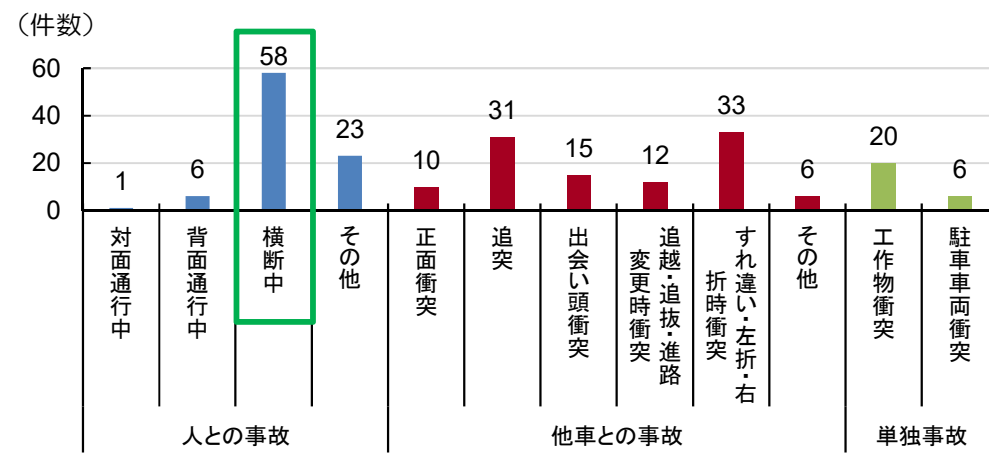


## トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和3年事故類型別死亡事故件数の内訳

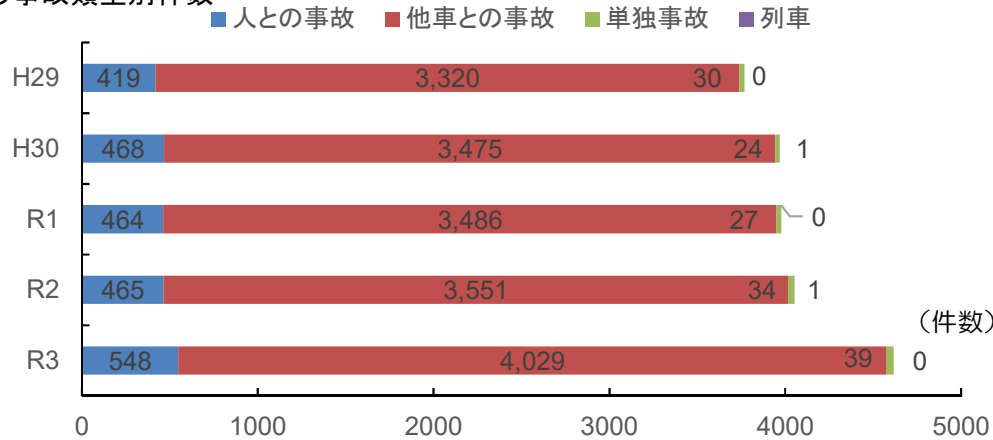


# 業態別の特徴的な事故(軽トラック)

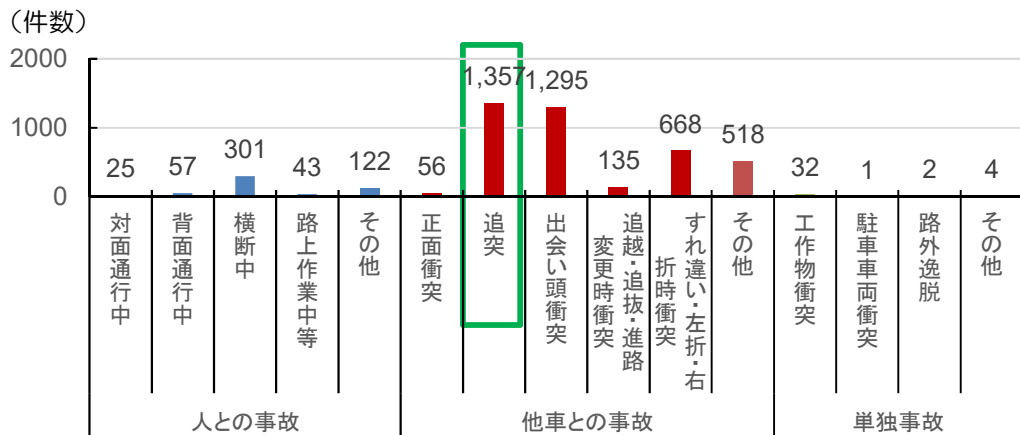
- 軽トラックによる交通事故全体の件数は増加傾向を示しており、令和3年は**4,616件**であった。事故を類型化すると、「**追突事故**」が全体の約3割にあたる**1,357件**発生しており、最多であった。
- 軽トラック以外のトラックによる交通事故全体の件数は減少傾向を示しており、令和3年は**9,415件**であった。事故を類型化すると、「**追突事故**」が全体の約5割にあたる**4,326件**発生しており、最多であった。

## 軽トラックの事故類型

○事故類型別件数

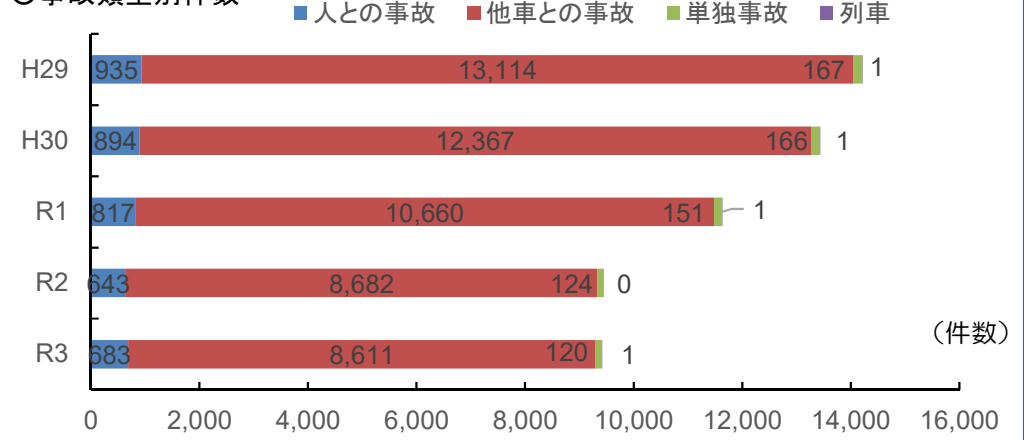


○令和3年事故類型別事故件数の内訳

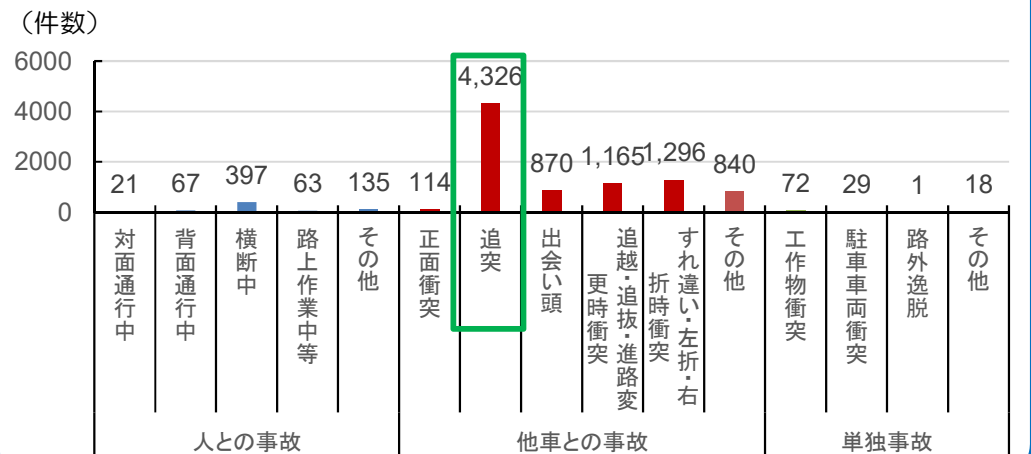


## 軽トラック以外のトラックの事故類型

○事故類型別件数

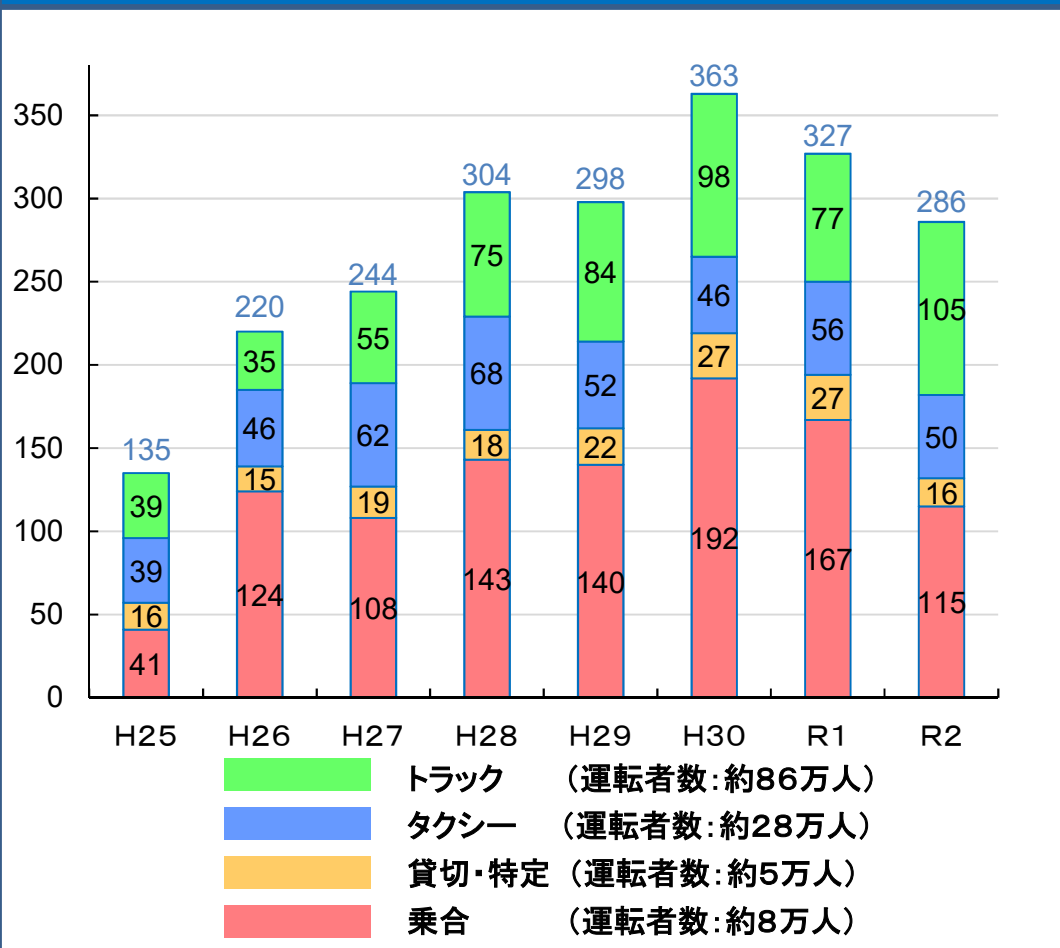


○令和3年事故類型別事故件数の内訳

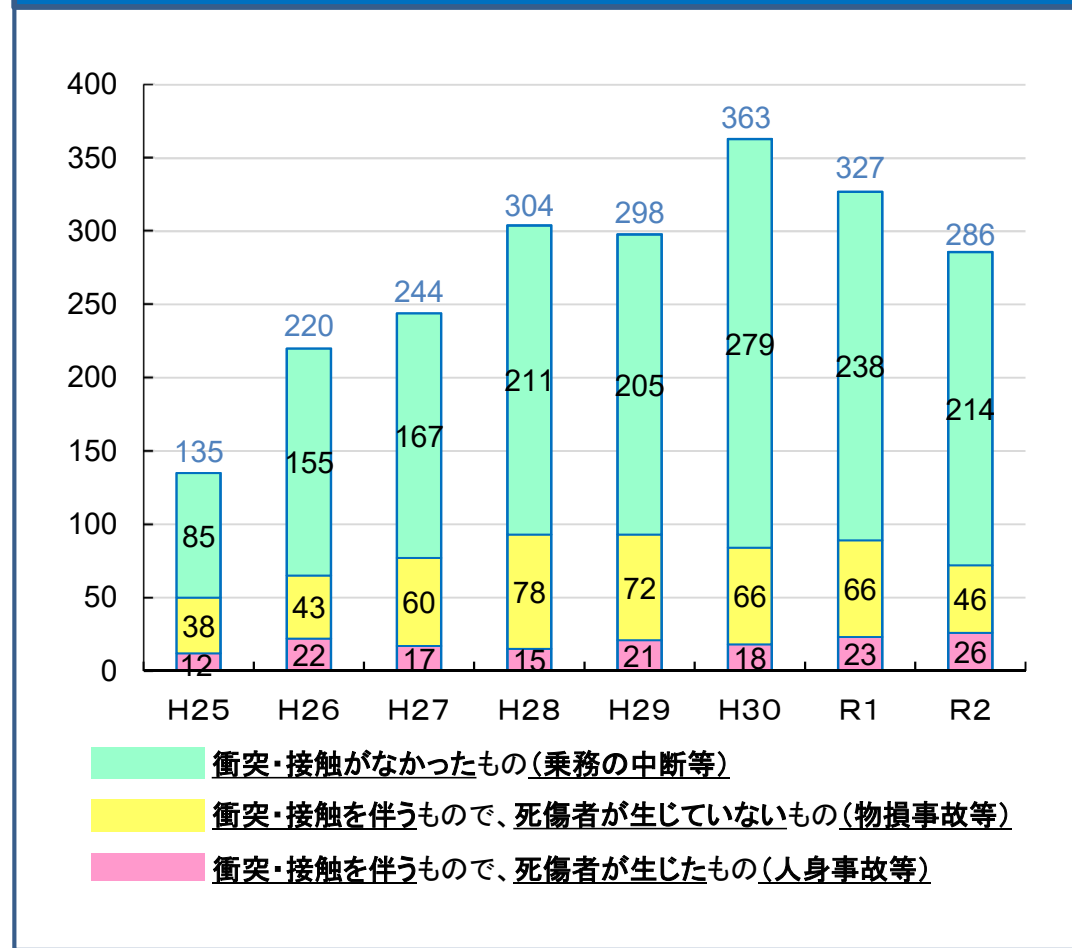


- 運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなった事案として自動車事故報告規則に基づき報告のあった件数は、各種対策の効果により、平成30年をピークに減少傾向に転じている。
- 令和2年は運行の中断等、**衝突・接触を伴わなかったものが約7割**と大半を占める。

## 健康状態に起因する事故報告件数 (業態毎の件数)



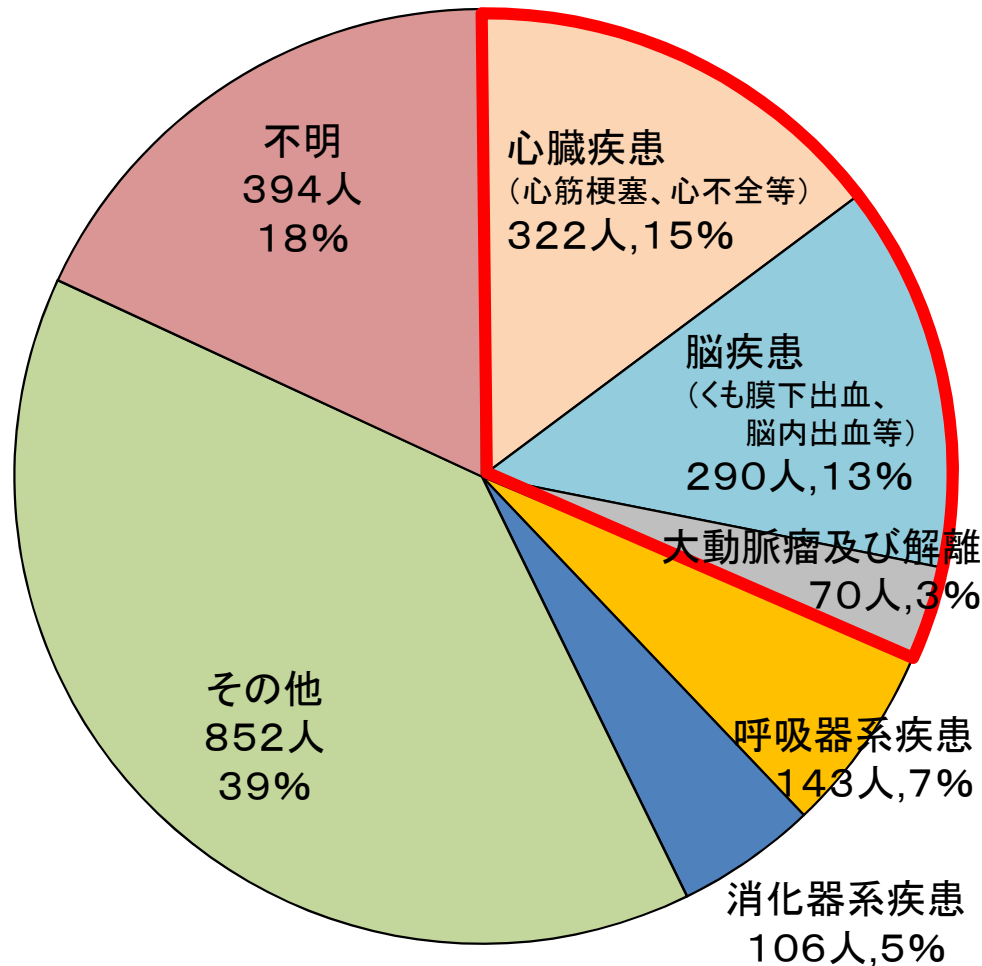
## 健康状態に起因する事故報告件数 (報告内容毎の件数)



- 過去8年間で健康起因事故を起こした運転者2,177人のうち**心臓疾患、脳疾患、大動脈瘤及び解離が31%**を占める。
- うち、死亡した運転者374人の疾病別内訳は、**心臓疾患が54%、脳疾患が11%、大動脈瘤及び解離が13%**を占める。

## 健康起因事故を起こした運転者の疾病別内訳 (平成25年～令和2年)

計2,177人



## 健康起因により死亡した運転者の疾病別内訳 (平成25年～令和2年)

計374人

